

東日本大震災の被災家庭2,338件へのアンケート調査

# 「被災地・子ども教育調査」報告セミナー

～被災地の「子どもの貧困」「教育格差」の実態が浮き彫りに～



photo by Natsuki Yasuda / studio AFTERMODE



会場 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 東京本社

対象 東日本大震災の復興支援に関心のある方

(企業CSR・社会貢献担当、行政関係者、NPO関係者、一般の方々)

参加費無料(※事前申込必要。詳細は裏面参照)

開催  
日時

平成  
27年

2月23日 月

19:00～21:00 (18:30開場)

## 被災地・子ども教育調査の結果(一部紹介)

▶ 年収250万円未満の世帯が、東日本大震災前後で約8%増加

▶ 経済的な理由で塾・習い事に通えない子どもが約68%(全国平均 約39%)

⇒上記の詳細・その他の調査結果はセミナーにて解説します。

### 【被災地・子ども教育調査の概要】

**調査対象** 東日本大震災で被災した小学生～高校生・保護者 2,338家庭

※チャンス・フォー・チルドレン「教育クーポン」応募者、東日本大震災復興支援財団「まなべる基金」奨学生を対象に実施

**調査方法** 2014年5月～9月にかけてアンケート調査票を配布・回収(郵送)

**調査内容** 家庭・放課後・学校での生活状況、学習・進路の状況、親の収入・雇用状況、被災状況 他

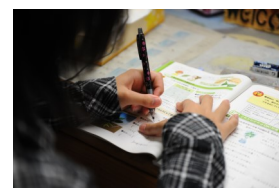
**実施体制** (主 催) 公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

(協 力) 公益財団法人東日本大震災復興支援財団

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

東日本大震災から4年が経とうとしています。私たちは、震災で被災した子どもたちの状況を正確に把握し、より適切な支援を届けるために、支援対象の被災家庭2,338件に対してアンケート調査を行いました。

本セミナーでは調査結果を報告させていただき、今後求められる被災地の子どもたちへのサポートについて、専門家や現場の支援者等から解説させていただきます。本セミナーが、企業・NPO・行政関係者、そして市民の皆さまがそれぞれの立場での「被災地支援」への関わり方を考えていただくための良い機会となれば幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



問合せ先

TEL 03-3681-2258 (土日祝除く)

E-mail east@cfc.or.jp

主 催: 公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

共 催: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

協 力: 公益財団法人東日本大震災復興支援財団

日時	2015年2月23日(月) 19:00~21:00
会場	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 東京本社 19階 会議室 (アクセスは本紙下部に記載) 〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー
対象者	東日本大震災の被災地支援に関心がある方 (企業のCSR・社会貢献担当者、行政関係者、NPO等の民間支援者、報道関係者、その他一般の方々)
参加費	無 料 (※事前申込必要)
定員	50名程度
実施体制	(主 催) 公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン (共 催) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 (協 力) 公益財団法人東日本大震災復興支援財団
問合せ	公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン 東京事務局 東京都江東区亀戸6-54-5-2F TEL 03-3681-2258 (土日祝除く) E-mail east@cfc.or.jp

## ◆ 当日のプログラム

### ①被災地・子ども教育調査結果の報告

喜多下悠貴/三菱UFJリサーチ&コンサルティング 研究員

### ②専門家による解説

～阪神・淡路大震災との比較からみた東日本大震災被災地の課題～

津久井進/弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所 代表社員

### ③被災した子どもの現場の状況・教育支援のこれから

今井悠介/公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン 代表理事

### ④質疑応答

登壇者が会場の皆様からのご質問にお答えします。

## ◆ お申込み方法 (締切:2月20日 正午)

下記の申込フォームに必要事項をご入力ください。

<http://cfc.or.jp/event150223/>



※申込時に受領する個人情報、主催者である公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンにて受領します。三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社及び公益財団法人東日本大震災復興支援財団は受領致しません。

## 報告・解説者プロフィール



### 喜多下 悠貴(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究員)

1987年生まれ。2012年東京大学大学院教育学研究科修了。大学院では、AO入試を利用した進路多様校からの大学進学をテーマに論文を執筆。現在、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に所属。同社のソーシャルビジネス支援プログラムに参画し、チャンス・フォー・チルドレンへのプロボノ活動に携わる。



### 津久井 進(弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所 代表社員)

神戸大卒。阪神・淡路大震災の起きた1995年に神戸弁護士会に登録。阪神・淡路まちづくり支援機構事務局長、関西学院大学災害復興研究所、日弁連災害復興支援委員会等で災害復興支援の活動に従事。児童養護施設等で子どもの権利の支援にも関わる。



### 今井 悠介(公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン 代表理事)

1986年生まれ。小2のときに阪神・淡路大震災を経験。関西学院大学在学中、NPO法人プレーンヒューマニティーにて不登校支援に携わる。2009年に株式会社日本公文教育研究会に入社。東日本大震災後、一般社団法人チャンス・フォー・チルドレンを設立し、代表理事に就任。2014年に内閣総理大臣から公益社団法人の認定を受ける。

## 会場案内

### 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 <19階 会議室>

東京都港区虎ノ門5-11-2  
オランダヒルズ森タワー

### 【アクセス】

東京メトロ日比谷線神谷町駅①番出口・東京タワー方面へ徒歩3分

\*高層階エレベーターでお越しください

